

令和6年度 学校評価アンケート集計結果まとめ

1 回答者数	生徒	562名	(回収率 74.6 R5:74.9R4:50.9)
	保護者	376名	(回収率 49.9 R5:50.1R4:62.3)
	教職員	57名	(回収率 74.0 R5:84.0R4:68.8)

※アンケートは Google Forms 活用

2 実施時期 令和6年12月19日(木) ~ 令和6年12月25日(水)

3 集計結果の概要

アンケートは、A(そう思う)、B(大体そう思う)、C(あまりそう思わない)、D(思わない)、E(わからない)と回答していただき、各項目のA~Eの割合を算出しました。そして算出結果のAとBの合計が、おおむね「85%以上」と「70%以下」の設問及び前年比±5%の項目を顕著なものとして分析しました。

(1) 生徒アンケートから

多くの項目で肯定的な回答(A・B)が80%以上を占め、授業のわかりやすさ、内容や進度、ICTの活用など学習面で高い評価が得られました。また、本校生は身だしなみや挨拶、ルール順守など生活態度を意識しており、「諸活動に意欲的に取り組んでいる」が最も高い評価となりました。これらから、生徒は満足感を持ちながら高校生活を送っていると考えられます。一方で、生徒理解や指導における公平性については、改善の余地があることが明らかになりました。

(2) 保護者アンケートから

本校の教育目標や経営方針について一定の理解を得られました。「地域起点」の視点を重視した取り組みや学校行事の充実が高く評価されています。家庭と学校の情報交流においては、さくら連絡網などの活用により情報発信が一定の評価を受けました。また、教師による生徒理解や相談対応の評価が前年比10ポイント以上向上し、教員の取り組みが成果を上げています。今後も教育活動の充実と保護者との連携強化を進め、学校全体の質の向上を目指してまいります。

(3) 職員アンケートから

本校の教育目標や計画が適切に立てられ、実践されていることが評価されました。特に、資格取得やICT活用、進路指導、生徒の健康や安全確保への取り組みに高い満足度が示されています。一方、生徒理解や家庭連携、指導の公平性といった分野で一部改善の余地が見られました。これらの課題を踏まえ、今後も教育活動や組織運営の改善を進め、教職員間の連携を強化することで、より良い教育環境を目指します。

4 次年度に向けた課題と改善策

生徒への進路指導および相談支援のさらなる充実が課題として挙げられます。また、保護者への情報共有や家庭との連携が十分でないとの指摘もあり、特にPTA活動への関心と協力体制の向上が求められます。改善策としては、進路指導と相談支援の強化を中心に、生徒一人ひとりに寄り添ったきめ細やかな指導を進めるとともに、情報発信手段の多様化(ホームページやSNSの活用強化)を図ります。さらに、保護者や地域との連携を深め、多様な教育実践やデジタル技術を活用した学びや体験活動の充実を通じて、生徒や保護者、地域の期待に応えられる学校運営を目指します。

(1) 生徒理解と生徒支援について

引き続き、生徒が安心して相談できる環境づくりを進め、進路相談や悩み相談を通じて生徒の気持ちに寄り添う支援を行います。生徒の個性や特性を深く理解し、それに応じた指導を行うことで、問題行動の未然防止や早期発見・対応に努めます。また、教育相談や支援体制をさらに充実させることで、生徒の自己有用感を高め、より質の高い支援を提供していきます。

(2) PTA活動の活性化について

年次や学級のPTA活動に加え、専門部の各種事業や学校行事で保護者の方々から支援をいただいております。これらの活動が、生徒の健全な成長や学校環境の整備に寄与するだけでなく、保護者と教職員の情報交換や交流を深める場となるよう、さらなる工夫と活性化を図ります。

(3) DX推進とAI活用による学びの進化

AIやICTを効果的に活用し、個別最適な学びと協働的な学びを実現します。学習ツールの導入と丁寧な指導體制を両立させることで、生徒一人ひとりに寄り添った指導や学習機会の充実を図ります。また、各教科での主体的・対話的で深い学びを推進し、授業改善や指導と評価の一体化を進めます。さらに、校外研修を積極的に活用して教員の指導力を向上させ、未来を担う生徒たちにより良い学びの場を提供します。

5 おわりに

学校評価は、学校運営を見直し、改善するための重要な目安となります。皆様からの貴重なご意見を真摯に受けとめ、教育活動や学校経営のさらなる改善に努めてまいります。

今後とも本校教育活動へのご理解とご協力をお願いいたします。